

春日製紙工業株式会社 TEL(0545)34-1000 FAX(0545)34-3751

紙産業の活性化ならびに紙ストローのさらなる普及

- ▶ 所在地 〒417-8503 富士市比奈760-1 ▶ 代表者 代表取締役社長 大塚 昇 ▶ 設立 1930年10月
▶ 資本金 30,000千円 ▶ 従業員数 135人 ▶ 事業内容 家庭紙、タオルペーパー、特更紙

紙の町富士市から、プラスチックを紙ストローに切り替え、
環境保護を考え次世代に美しい地球を残しましょう

事業の目的

海外製の紙ストローが席卷しているが、品質が良くなくプラスチックに逆戻りする動きもみられる。紙の町富士市、そして日本ブランドとしての意地を見せ、環境負荷軽減はもとより、紙事業活性化、高品質な商品、ニーズに応じた商品作りを展開し国内プラスチック切り替えの一助になれることを目的とします。

事業の概要

紙ストロー製造機は高速化を実現し、紙ストローの断面も綺麗に切断できるようになりました。乾燥室を導入したことにより、短時間での乾燥による効率化だけでなく、紙ストローの強度も増すことができ、さらなる品質アップに繋がっております。個包装機も従来不可能だった短寸の紙ストローを包装することができ、新たな展開が可能となりました。



紙ストロー製品ラインナップ

SDGs達成に向けての成果

COVID-19の影響はあったものの、生産効率・品質強化を図ることができ、飲食・ホテル関係へも導入が進んでおります。新たな需要としてアルコール検知器用のストローを開発し、販売実績を着実に積み上げております。また、昨年春から開発している曲がるストローも品質強化により、製品化へ確実に進んでおります。



脱プラスチックにより地球環境に優しい紙ストローであることを個包装袋で訴求しています

成果からみる SDGs達成Goals

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



14 海の豊かさを
守ろう



本事業で導入されたストロー製造機